



郵便はがき

昭和くらしの学校

2015年 後期講座のご案内

登録文化財・昭和のくらし博物館で、衣食住の昭和の知恵を学ぶ講座です。
くらしの手仕事をとりもどし、現代の生活に活かしてみませんか？
指定講座修了者は「昭和のくらし伝承士」として認定します。
くらしを伝える活動にぜひご参加ください！

会 場:昭和のくらし博物館

受講料: 1 講座 **2,000**円(入館料、資料代、材料費込)

定 員: **10**名 要予約(定員に達し次第メ切)

*キャンセルの場合は必ずご連絡ください。キャンセル待ちの方にご連絡します。

申 込: 昭和のくらし博物館まで下記情報を添えて、メール、電話、FAXでお申込み下さい。

氏名/住所/電話番号(当日連絡のつく番号)・FAX番号/メールアドレス
(PCメールを受信できるもの)/年齢

講座開始の3日前までに受講料を下記郵便振替口座にお支払いください。

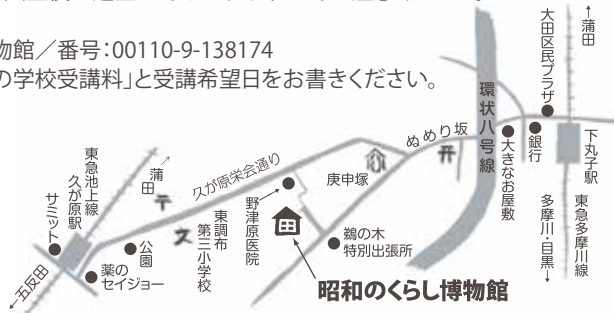
*キャンセルの場合も、ご入金後の返金はできかねますのでご注意ください。

《郵便振替口座》

口座名:昭和のくらし博物館/番号:00110-9-138174

/通信欄に「昭和くらしの学校受講料」と受講希望日をお書きください。

ご予約・お問い合わせ
昭和のくらし博物館
〒146-0084 大田区南久が原2-26-19
TEL・FAX 03-3750-1808
(金・土・日・祝日 10:00-17:00)
mail@showanokurashi.com
http://www.showanokurashi.com



昭和のくらし博物館公認
「昭和のくらし伝承士」

12講座(2013~2015年前期の修了講座も含)
を修了した方を認定します。登録文化財・昭和のくらし博物館でくらしを伝える活動を一緒にしませんか？

昭和くらしの学校 2015年 後期講座のご案内

12月5日(土) 10:30~14:30

「障子張り」 増田勝彦先生(和紙文化研究会副会長)

世界的な紙の専門家に障子張りを学びます。障子紙を剥がし、剥がした紙を燃して鉄釜でご飯を炊く、昔ながらの障子張り。世界文化遺産に登録された手すき和紙のお話もお聞きます。

2月14日(日) 10:30~12:30

「繕い物」 永野澄江先生(和裁師)

穴が開いたり、裂けたり破れたりした服や着物、靴下なども、かつては何度も繕って大切に着ていました。布の当て方や縫い方も工夫されていました。今では忘れられつつある、美しく丈夫な繕い方を学びます。

3月12日(土) 10:30~13:30

「お豆腐づくり」 宇谷京子先生(石見銀山・熊谷家住宅家の女たち)

日々の食卓に欠かせない「お豆腐」。自分で作ってみたいと思いませんか？大豆をすり鉢でつぶし、天然のにがりを加えて作ります。副産物の、おからや豆乳・ゆばも味わえます。豆腐作りを通して、手作りは難しくない!美味しい!楽しい!を学びます。

*講座内容は変更になることがあります。最新情報は宛名面に記載のホームページをご覧ください。

*汚れても良い服装、もしくはエプロンなどご持参してお越しください。

*庭での作業の場合は、寒さ対策をお願いいたします。

*重要文化財熊谷家住宅(島根県大田市)で開催中の「むかしの家事教室」の講座を修了された方も「昭和のくらし伝承士」として認定します。http://kumagai.city.ohda.lg.jp